

USB フラッシュメモリによる感染防止策

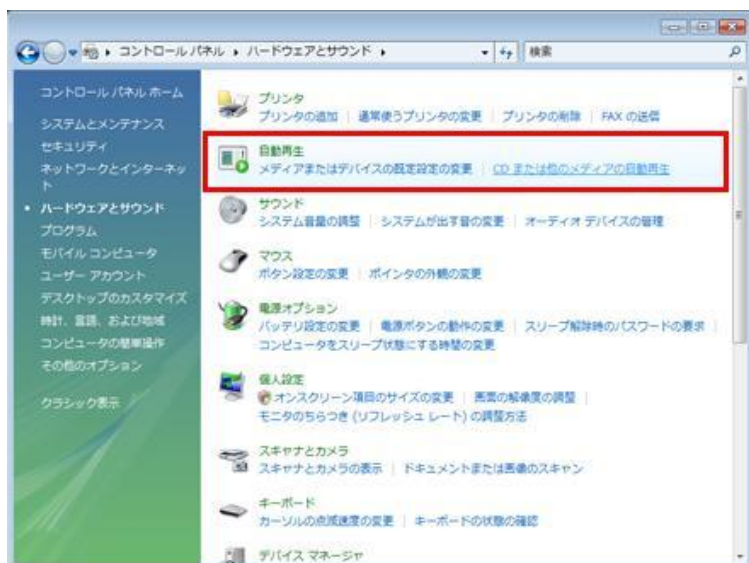
Windows には、USB メモリを挿入するとファイルを自動再生する機能が存在しています。この自動再生機能を悪用し、PC へ USB メモリを刺すだけで感染するタイプのウイルスが存在しています。感染の予防対策として、Windows の設定で自動再生機能を無効にし、ウイルスチェック実行後にファイルを開くようにしましょう。

① 自動再生機能の停止

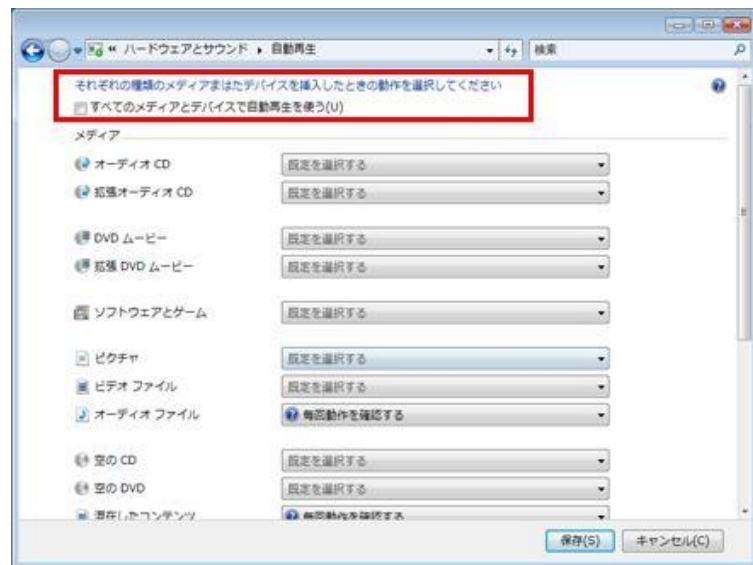
1. 「スタートメニュー」から「コントロールパネル」を選択し、メニューから「ハードウェアとサウンド」を選びます。



2. 「自動再生」を選びます。



3. 「すべてのメディアとデバイスで自動再生機能を使う」のチェックボックスを OFF



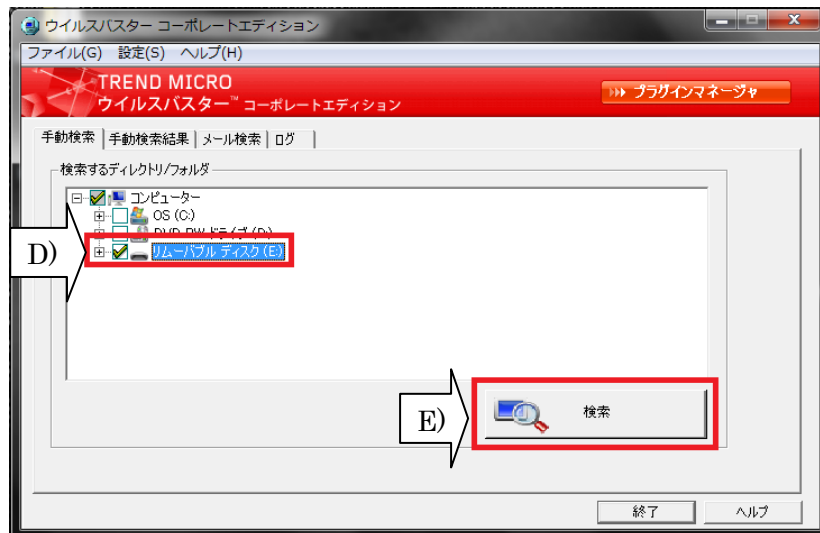
4. チェックボックスを外したら、保存しましょう。

② ウィルスチェック実行

1. A)の「隠れているインジケーター」を選択します。(お使いのパソコンによってはタスクバーにウイルスバスターが表示されているものもあります)
2. B)のアイコンを右クリックし、C)の「ウイルスバスター Corp.管理コンソール」を選択します。



3. D)の挿入されたリムーバルディスクを選択し、E)の「検索」を実行してください。



③ USB ファイルを開く

※ウイルスが検出された場合、絶対に開かないでください。

1. 「マイコンピュータ」から「リムーバルディスク」をダブルクリックし、開きます。

